

A (大手鉄道) 会社様

「社内で作業している約100社の関連会社間で工事関連文書の承認処理効率化にWEBDCMが貢献。

「Net-It-Central”および”CyberFinder”と連携することで低速回線の臨時工事事務所における共有文書の参照にWEBDCMが貢献。」

WEBDCM導入前

鉄道会社の社内では、A関連会社とB関連会社が作業しており、A関連会社で作成/承認された工事関連文書がB関連会社に配布され実際の工事が実施されています。工事関連文書は、紙文書で作成されて、持ち回りで内容チェック/修正/承認行為がされていたため非常に多くの時間が経過していました。B関連会社は、紙で出力された多量の工事関連文書を持って臨時工事事務所に行き、その紙文書の中から必要な情報を探し出す必要があるため非常に作業効率が良くありませんでした。臨時工事事務所には、ネットワークが設定されていますが、回線として使用できるのはISDNのみでした。従って、通信速度は、64KB～128KBに限定されてしまい、工事関連文書の図面(CADデータ)などはファイルサイズが大きいためネットワークを使用して見ることはできませんでした。

WEBDCM導入後

A関連会社で作成した工事関連文書は、WEBDCMのワークフローを使用してISO9001に基づいた内容チェック/修正/承認行為がされるようになったので、人手で持ち回っていた分の工数が削減できて全体の処理時間が短縮されました。また、CADデータはWEBDCM登録時に”Net-IT-Central”で自動的にHTML形式に変換して登録されるようにしたため、臨時工事事務所の低速回線でもネットワークを通じて参照できるようになりました。さらに、全文検索エンジンとして”CyberFinder”をWEBDCMに組み込むことで、多量の工事関連文書の中から必要な情報をすばやく検索できるようになり、作業効率が大幅に向上しました。

WEBDCM導入効果

工事関連文書のペーパー削減

鉄道会社内でのISO9001の承認作業工数削減、および日程短縮

鉄道会社内でのISO9001に基づく資料の廃棄/更新作業の自動化

”CyberFinder”との連携による工事関連文書の情報検索工数削減

”Net-It-Central”との連携による、ネットワークでのCADデータ参照

